★★ライブラリーシアター★★

■日時　10 月 31 日（木）

13：30～16：00　＜第 1～3 話＞　（各話 50 分）

「奇妙なお悔やみ状」「幸せの修了証書」「けじめの断り状」

16：30～19：00　＜第 4～6 話＞　（各話 50 分）

「最後のラブレター」「母へ贈る文字」「愛するチーちゃんへ」

■上映作品　「ツバキ文具店～鎌倉代書屋物語」

作：小川糸

※作品のあらすじは、裏面をご覧ください。

■場所　三股町立図書館 多目的ルーム

伝えたい思い、ありませんか？
その手紙、あなたに代わって書きます。

小川糸の「ツバキ文具店～鎌倉代書屋物語」を
上映いたします。

出演　多部未華子　高橋克典　上地雄輔
片瀬那奈　新津ちせ　江波杏子
奥田瑛二　倍賞美津子　ほか

1 話完結なので、気になるお話を選んでご覧ください。
もちろん、全作品ご覧いただくこともできます。

お問い合わせ　三股町立図書館　0986－51－3200

伝えたい思い、ありませんか？

その手紙、あなたに代わって書きます。

「ツバキ文具店～鎌倉代書屋物語」小川糸／著

「奇妙な　お悔み状」（第１話）

雨宮鳩子（多部未華子）は８年ぶりに故郷の鎌倉に戻ってきた。「ツバキ文具店」を営んでいた祖母のカシ子（倍賞美津子）が亡くなったのだ。「ツバキ文具店」は、依頼者が書けない手紙を、なり代わって書くことが生業という一風変わった店だった。祖母に反抗して家を飛び出した鳩子には、店を継ぐ気はなかった。しかしそこに、祖母が亡くなる直前に、お悔み状の代書を依頼したという客がやってくる。

「幸せの修了証書」（第２話）

新米の代書屋となった鳩子のもとに持ち込まれたのは離婚をお知らせする手紙。依頼人の三津田（高橋和也）から離婚のお知らせに使ってほしいと、封ろう用のシーリングスタンプを渡される。円満離婚を強調する三津田に違和感を覚える鳩子。手紙を書くヒントを得ようと三津田を訪ねた鳩子だが、話しているうちに三津田は動揺し、離婚のお知らせを出すかどうか迷い始める。

「けじめの断り状」（第３話）

ツバキ文具店を訪ねてきた鳩子の元恋人・武田（松澤傑）。武田は出版社に勤める編集者で、ある有名エッセイストに送る執筆依頼を代わりに書いてほしいという。安易な依頼に鳩子は、代書を断り追い返してしまう。一方、男爵（奥田瑛二）からも代書の依頼が。友人からの借金を断る手紙だ。ぶっきらぼうな男爵が苦手だった鳩子はとまどうが、その隠れた一面を次第に知り、男爵の断り状に取り組む。

「最後のラブレター」（第４話）

鳩子（多部未華子）に持ち込まれたのは、かなり前に別れた恋人への手紙の代書依頼。園田薫（川口覚）はその女性・桜（桜川博子）に、ただ自分が元気であることを伝えたいのだ、という。園田はすでに妻子がおり、桜も結婚している。手紙を書けば、不倫の誘いの片棒を担ぐことになる。とパンテイー（片瀬那奈）に忠告されるが鳩子にはそう思えず、ひたすら桜の幸せを願う園田の思いを手紙にしようとする。

「母へ贈る文字」（第５話）

怪しい外国人青年（アレックス・ＪＤ）が、鳩子のことを尋ね回っているらしい。鳩子のことを心配する面々だが、そんな中、男爵（奥田瑛二）が花蓮（芦名星）を連れてくる。依頼は、義母への誕生日カードの代筆だった。鳩子は快く引き受けたものの、どうやら花蓮と義母の知里（阿知波悟美）はうまくいっていないらしい。欠点の見当らない花蓮には、文字に関する意外な悩みがあるのだった。

「愛するチーちゃんへ」（第６話）

ツバキ文具店に現れた白川（高橋克典）は、認知症の母・千代（草村礼子）を施設に預けることを決意した。が、亡き父からの手紙が来るから家に戻ると言い張る千代に困り果てていた。そこで鳩子に、父からの手紙を書いてほしいと依頼する。千代が安心する手紙に悩む鳩子。そんな時、バーバラ婦人（江波杏子）の発案で、男爵、パンテイーとともに、鎌倉の寺社に七福神めぐりに出かけることになる。